

令和4年11月8日

令和4年度 第二回 坂本小学校運営協議会議事録

- 1 日時 令和4年10月28日（金）10：00～12：00
2 場所 坂本小学校図書館
3 参会者 石井会長、根本副会長、岡村委員、市村委員、澤田委員、田中委員、
白井委員、齋藤委員、藤谷委員、脇本委員、佐藤委員、工藤委員、
荒井校長、山口副校長、飯井専任、本間教務主任

4 議題

(1) 会長挨拶

昨年の11月には50周年行事が行われた。先日の新聞記事では、全国的にいじめ・不登校の数が増加していると載っていた。コロナの影響もあるのではないかと。無事、本協議会を開催できることに感謝している。

(2) 校長挨拶

無事4・5年が宿泊体験学習に行くことができた。教室の中だけでなく校外での活動ができるようになった。学習ボランティアやふわふわルームの支援など、地域・保護者の方々にたくさん支えられていることに感謝している。

(3) 児童の様子から

なかよし大作戦やキラキラタイムなど、計画的にペア学年活動ができている。

(4) 授業参観

(5) 意見交換 テーマ「地域学校協働教育の具体について」

～坂小の子どもたちのためにどのような支援ができるか～

【校長より】

- ・家庭科の学習ボランティアや人権教室など、地域や保護者の方々が学校に来ていただくことにより、子どもたちが多くの方々に見守られていると実感することができる。「ふわふわルーム」にも多くの大人が関わってくださることで、安心感につながっている。
- ・蔵王神社の交差点では、信号を待つ児童が横に広がるなど危険を感じる。学校運営協議会でも子どもたちの安全な登下校について話題にできたらと思う。

【委員の方々より】

① 登下校の見守りについて

- ・蔵王神社の交差点については毎年スクールゾーン協議会で話が出る。今年は青信号の時間を延ばすことでまとまった。ただ、これ以上の対策は難しい。毎朝警察に立ってもらうことも難しい。
- ・交通事故の未然防止だけでなく不審者から子どもの身を守るという観点からも登下校の見守りは必要である。
- ・仏向小でも今年度見守り隊が発足した。学校運営協議会のメンバーが中心となり地域で組織を立ち上げるのはどうか。
- ・坂本小では、登校は見守りボランティア、下校は社会福祉協議会で行っている。こうした方々も含めて学援隊を組織化していくべきである。
- ・登下校の指導用の明るい緑色の帽子や黄色いベストがある。どういう方々が見守り

をしているのかを含めて、そうした活動や帽子のことなどを知らない人が多いので、周知した方がよい。

- ・固定化すると登録した人の重荷になる。朝の時間は人の確保も難しい。地域の方々、保護者の方々に広く募って組織を立ち上げることによって、毎日でなくても、できる範囲で見守りを行っていただくのはどうか。特に地域の方々に広く募っていきたい。

- ・見守り隊は、まとめ役がいないと進まない。受け皿が必要である。川島小は学援隊があり、元警察官など地域の方々に協力を得て体制を整えている。

- ・まずは学校運営協議会が主体になり、募集をかける。集まった方々で見守り隊を組織化する。PTAが事務局を担うようなかたちがよいのではないか。

- ・見守り隊が発足した場合にはしっかりと根付くことができるように、学校、PTAともに誰が見ても分かるような資料をしっかりと引き継ぐ必要がある。

- ・「坂本小見守り隊」であると分かるような統一した服装もあるとよい。

- ・見守り隊については学校運営協議会名で募集をかける。地域の皆さまにも多く参加していただくよう、声をかけていただく。

② 学習ボランティアについて

- ・学校・地域コーディネーターのご紹介で全盲のピアニストの方の演奏会、講演会を行った。子どもたちは熱心に話を聴いていた。さまざまな地域の方々との出会いによって、子どもたちの貴重な体験となっている。

- ・「ふわふわルーム」は、子どもたちの学習を受ける権利を考えると、どうしても教職員の配置が必要になってくる。中学校では、各校で「ふわふわルーム」のような校内ハートフルルームが整っていて、教職員の加配がある。小学校（本校）においても加配をしてほしいと教育委員会に依頼をしたが、教職員の加配については予算も伴うことなので難しいとのことだった。

- ・学校運営協議会から、本校の「ふわふわルーム」の現状を教育委員会にしっかりアピールすることが必要である。教職員の加配について、学校運営協議会が直接教育委員会に伝えた方が、効果がある。

- ・「ふわふわルーム」では、タブレットを活用して授業を受けることもできるのではないか。

- ・校内ハートフルルームを推進している中学校を見学した。別校舎の4・5部屋を活用しており、学習する場、遊ぶ場、談笑する場、体を動かす場が確保されており、子どもたちを見守る人員も確保されていた。

- ・大学生へのアピールを引き続きお願いしたい。しかし、学生なら誰でもできるというわけではない。横浜国大の先生とも連携して、学生の派遣を依頼したい。

(6) 連絡

【ふれあい教室について】

- ・11月19日（土）にふれあい教室が開催される。コロナ前は全校参加だったが、今年度は希望者のみの参加となった。参加児童は約300名。学校地域コーディネーターの方々を中心に学校と連携を取りながら進めてきた。次年度以降もこの形で進めていく予定である。

(7) 今後の学校運営協議会について

第3回 令和4年12月7日（水）10時～ 学校評価について

第4回 令和5年2月2日（木）15時15分～ 委員と全職員との交流